

北海道経済連合会 会長 真 弓 明 彦 様

北海道知事 鈴木 直道

新型コロナウイルス感染症に係る若年層（10代～30代）の望ましい行動及び高齢者・基礎疾患を有する方等に対する重症化リスクの低減に関する注意喚起について
（依頼）

このことについては、現状、道内において、新型コロナウイルスによる感染症の発生が続いていることから、去る2月28日に「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を発し、道民を挙げて感染拡大の防止に向けて様々な対策を講じているところです。

先般、厚生労働省から、「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」による「新型コロナウイルス感染症対策の見解」として、本道における感染状況や今後の感染拡大を防ぐための対策等が示されたところです。

この見解によると、「症状の軽い人も、気が付かないうちに、感染拡大に重要な役割を果たしてしまっていると考えられるとのこと」であり、また、「これまでに国内で感染が確認された方のうち、重症・軽症に関わらず、約80%の方は、他の人に感染させていない一方で、屋内の閉鎖的な空間など、一定条件を満たす場所において、一人の感染者が複数人に感染させた事例が報告されていること」、更には、「感染が確認された症状のある人の約80%が軽症、14%が重症、6%が重篤となっているものの、重症化した人も、約半数は回復しているとのこと」です。

また、「本道では、都市部に社会・経済活動の活発な人々が、感染のリスクが高い場所に多く集まりやすく、気が付かないうちに感染していたと考えられ、中でも、若年層に症状の軽い人が多いと考えられることから、そうした人々の一部の人が他の圏域に移動することで、本道の複数の地域に感染が拡大し、感染した高齢者の中から、発症したことが報告されたことにより、その拡大状況が初めて把握できたと考えられるとのこと」であり、更には、「10代から30代の若者世代は、新型コロナウイルス感染による重症化リスクが低く、こうした症状の軽い人が、重症化リスクの高い人に感染を広める可能性があるとのこと」です。

道としては、この感染症の早期の終息や道民の皆さんの命と健康を守るため、「やるべきことは、全てやる」との考えに立ち、「緊急事態宣言」の下、週末の不要・不急の外出を控えることなどについて、御理解と御協力をお願いしているところです。

若年層の方々及び重症化リスクのある高齢者や基礎疾患のあるの方々、周囲の方々による注意喚起や配慮いただくことなども含め、正しい知識や相談窓口等の重要な情報が、その対象となる方々に、感染防止意識の高揚がなされるよう、次の資料を活用するなどして、会員団体・企業等における周知に御協力いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 パンフレット「新型コロナウイルスを防ぐには」
- 2 相談窓口及び帰国者・接触者相談センターについて
（北海道庁ウェブサイト URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/singatakoronahaien.htm>）
- 3 新型コロナウイルス感染症対策の基本方針（概要）
- 4 新型コロナウイルス緊急事態宣言（お願い）（令和2年3月12日）

経済部経済企画局経済企画課
経済企画グループ 主査 石村 晃子
電話 011-204-5308
ishimura.akiko@pref.hokkaido.lg.jp